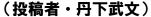
マイ べすとしょっと



あじさいといえば?

今年は梅雨が短かく、晴れの日が多かったため日 光をたくさん浴びて、とても元気できれいな花が咲 きました。葉っぱの中に「暑くてたまらん」と休憩し ているあじさいの相棒カタツムリを発見しました。





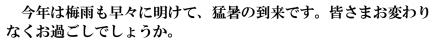












さて今回は旅行のお話を書いてみます。ここ数年コロナの影響 で思うように遠出もできず、残念な想いをされてる方もいらっし ゃるでしょう。感染が少し落ち着いたので、3年越しの旅行計画 ■ を実行しました。オストメイト(※1)となって初めての大旅行で不 安はありましたが、友人4人と4泊5日(船中2泊)の旅へ出発 しました。

今回は、石川県金沢市で行われた「オストメイト全国大会」(6) ■ 月18日~19日)にも出席し情報収集。その後レンタカーで、あ ■ ちらこちらを周り日本海ならではの海鮮料理に舌鼓を打ちました。 海を眺めながら入る温泉は「ハァ~ごくらく~」人の目が気にな









るかなぁ…とも思いましたが心配は不要でした。こんなチャンスを与えてくれた友人に感謝です。ハ プニングも含め楽しい思い出が出来ました。無事帰宅した後は、コロナの検査もして、結果は陰性で した。この夏もウィルスの対策をしながら、ステキな夏の思い出が作れるといいですね。

(※1)様々な病気や事故により、腹部などに排泄のための開口部「ストーマ(人口工肛門・人工膀胱)」を造設した人のこと。

今号も皆さまのご協力のおかげで発刊することができました。暑い日が続きますが、 皆さまいかがお過ごしでしょうか。今回の事業所紹介は地域活動支援センターちゅうり

っぷでした。利用されている方々が、気軽に相談できたり、話に行きたいと思える雰囲気がとてもいいなと思いま した。当事者奮闘記の越智義則さんは西条市障害者団体連合会の会長を18年されているそうですね。それだ け長くされているというのは、越智さんの人柄がすばらしいのだろうなと思います。

あっという間に梅雨も明けて、これからも暑くなると思います。熱中症、そして新型コロナと皆さま体調には気を 付けてお過ごしください。今号もありがとうございました。

(オンリーワン 黒河 亮)

発行:西条市障害者相談支援センター (西条市社会福祉協議会)

編集:オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内 TEL: 0898-64-2600 代 FAX: 0898-64-3920 E-mail: soudan4-saijo@saijoshakyo.or.jp



バリアフリー ペーパー

夏号

令和4年 7月26日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事 者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、共同で作成したものです。

蒸し暑い日が続き、熱中症が心配な季節になってきました。環境省と厚生労働省が出した 「熱中症予防×コロナ感染防止」の指針によると、高温多湿下でマスクを着用する事は熱中症 のリスクが高まる為、屋外ではマスクを外す事が推奨されています。夏の暑い時期は熱中症か ら身を守る為に、適宜マスクを外す事が必要ですね。そして、マスクをしていない時は、人と一 定の距離を保ち会話を控える等の感染対策を行いましょう。自分や大切な人を守る為に頑張る 日々がまだまだ続きますね。 (支援センター 久保)



西条市障がい者自立支援協議会子ども部会の取り組み

自立支援協議会とは、障がい のある人々のよりよい地域生活を 実現するために、障がい(児)者 に関わる関係機関が情報を共 有し、地域の課題解決に向けて 協議を行う場です。西条市障が い者自立支援協議会には、相談 支援部会、権利擁護部会、就労 支援部会、子ども部会の4つの 部会があります。子ども部会は月 に 1 回定例会を開催し、児童に 関する地域課題について協議を 行ったり、関係機関との連携や、 支援のレベルアップ、家族支援 等について検討し、児童福祉の 増進に取り組んでいます。ここで は活動の一部を紹介します。

【子どもの支援を学ぶ講演会】

保護者や支援者を対象に、子どもの支援に関す る講演会を開催しています。昨年度は西条市西部 ウイングサポートセンターの青木里美氏を講師にお 招きし、子どもの支援や子ども理解を深めるための 取組みについてお話いただきました。講演会動画 は YouTube にて配信中で、誰でもご視聴いただけ るようになっています。



【保護者会に関する状況調査】

同じ悩みを持った保護者が集える場所に関する ニーズが多い事から、保護者会に関する状況調査 を行い、一覧表を作成しました。



講演会動画や、保護者会情報一覧表、その他子ども部会の取り組み については、西条市のホームページに掲載されていますので、関心のあ る方は「西条市障がい者自立支援協議会子ども部会」をご覧ください。

西条市障がい者自立支援協議会子ども部会

イラストコーナ

題名:くわがた 作者:山内 慎介

子どもが好きなくわがたを カラフルに描いてみました。 今にも動きだしそうなイメ ージで、楽しんで描けました。



地域活動支援センター

ゆうりっぷを訪問しました



西条市総合福祉センター (西条市神拝)

-\$\$:\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$

地域活動支援センターちゅうりっぷは西条市総合福

祉センター1階にあります。職員は3名で、ご利用者の

登録人数は24名です。1日に5、6名の方が利用され

主な活動内容は、ミシンや手作業によるコースター、

ポーチ、トートバッグ等の作品作りで、委託販売やイベ

ント会場などで販売しています。この活動には社会性

や就労意欲を高める目的があります。その他にも、ご利

用者の方々に合わせて体力作りや調理講習等を行い、

自主性や協調性を高めていきます。「大切なのは堅苦し

くならないこと。気軽になんでも相談できる地域活動

支援センターを目指しています」と職員の方は明るく

取材させていただいた当日はトレーニングの活動の

日で、福祉センター3階のふれあいトレーニングルー

ムを利用して行われていました。様々な器具が設置さ

スペースに立ち寄ってみてください。すてきな小物や

ているそうです。

話してくれました。

-\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$\\$

地域活動支援センターとは、障がいのある人 に対して創作活動、生産活動、社会との交流促進 などの機会を提供する日中活動の支援の場です。 障がい者総合支援法に基づく市町村地域生活支 援事業の一つであり、西条市には社会福祉法人聖 風会が運営する「ちゅうりっぷ」とNPO法人石鎚が 運営する「さくらんぼハウス」の2か所があります。障 がいがあることで、社会活動をする場所が限定され 閉じこもりがちになってしまうことがあります。地域活 動支援センターは、そのような方達に対し、日中の 居場所や生きがいづくり、日常生活での困りごとを 相談できる機会を提供し、社会的に孤立した状態 になる事を防ぐ役割をもっています。



両手にバーベルを 持って訓練されてい 援をうけながらバー ベルを持ち上げると 拍手が起こります。 とても嬉しそうでし



ニングです。ペ ダルの負荷が調 節できたり、カ ロリーも表示さ

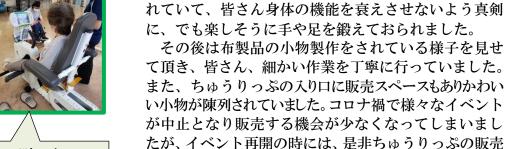
ます。周囲からの声

れます。

7月予定表

4日	(月)	調理講習	場所:栄養指導室
5日	(火)	トレーニング	場所:ふれあいトレーニングルーム
12日	(火)	トレーニング	場所:ふれあいトレーニングルーム
15日	(金)	脳トレの日	
18日	(月)	海の日	
19日	(火)	トレーニング	場所:ふれあいトレーニングルーム
23日	(土)	ハンドメイドマルシェ	会場:作田商事(今治)
26日	(火)	トレーニング	場所:ふれあいトレーニングルーム
29日	(金)	メンバー会	

7月の月間予定表を見せて頂きました。 一番人気の行事は調理講習だそうです。



下肢のトレー

指に障がいがある方も膝を

使って器用に布を押さえなが ら縫っています。ご自分が着て いるズボンも一緒に縫ってしま ったこともあったそうです。 (*´艸`)

笑顔に会えることでしょう。

ちゅうりっぷで販売され ている小物は、どれも力 作揃いの作品です。

事者の奮闘記 未来への足跡



今回、取材させていただいたのは 西条市神拝に在住の

越智義則さんです。

平成28年秋号のオンリーワンでは西条市フライン グディスク協会の会長として掲載させていただきまし た。今も元気に競技を続けていらっしゃいます。ディ スクを投げるには上肢のトレーニングはかかせませ んね。奥様と一緒に仲良くちゅうりっぷに通われてい るとのことです。



「手は使えるのだから」と率 先してコースター製作にと りかかっておられました。

障がいについて

1歳の時、原因不明の病気左足運動不全で歩行困難となりました。中学校を 卒業する時に、母親より体が不自由でも手に職をつけてで自立する様に言われ て、洋服仕立て職人となりました。27歳で結婚して子ども2人と暮らしていました が、38歳の時仕事が少なくなり、松下寿電子の障がい者雇用で会社員となりま した。そして定年となる60歳まで22年間勤めました。

現在の活動

平成16年2市2町の合併により、西条市障害者団体連合会の会長となり、10年間は頑張って障がい者のために やって行こうと思っていましたが、いつの間にか18年が過ぎました。これまで何も実績がなく反省しておりますが、 こんなに長い間会長を務めることが出来たのは、行政や障がい者のみなさんのお陰だと感謝しております。

ちゅうりっぷについて

地域活動支援センターちゅうりっぷの利用者としては2年半位になりますが、毎日楽しく通所しております。地域 活動支援センターは、創作活動や生産活動の場であり、重度の障がい者にとっては日中活動の居場所としても 大変重要な所で、なくてはならない所だと思っています。ちゅうりっぷは廣田施設長、西原管理者をはじめ3人の 職員により、障がいの特性に応じた支援をしており、気軽に話し合える場所を提供したり、日常生活での困りごと を相談できる機会を設けるなど、地域活動支援センターとしての機能を十分に発揮していると思います。

ちゅうりっぷの職員さんは利用者の方々に合わせた支援を行い、家庭的でゆったりとした雰囲気 を作っていました。気軽に話をしたり相談もできる居心地の良い地域活動支援センターであり続けて欲しいと思 います。また、越智さんの話の中で「長い間西条市障害者団体連合会の会長を務めることができたのは、行政 や障がい者の皆様のお陰です」と謙遜されていましたが、それは越智さん自身の人柄によるものと思っていま す。私も団体の一員として、越智さんにいろいろな事を教わりながら頑張っていこうと思っています。今後の活動 も期待しています。 (オンリーワン 柳瀬 修二)



り気症描い まににいつ夏 はて くに し気みま関 を ま ま 1 けた ラ スの 切元中に思

作 題 名 楽夏

